

無形民俗文化財の保存・活用に関する調査研究 (①無02-09-4/5)

目 的

風俗慣習、民俗芸能、民俗技術など無形民俗文化財の現在における伝承の実態、伝承組織、公開のあり方等についての全国的調査を行い、その成果をデータベースとして構築する。さらに研究協議会の開催を通じて各地の保存団体や保護行政担当者等とこれら研究成果及び問題意識の共有化を図り、具体的保護施策の実施に資する指針を作成し公表する。

成 果

1 無形民俗文化財の伝承・公開の実態調査

本年度は、無形民俗文化財としての民俗芸能の伝承実態の調査として、昨年に引き続き鹿児島県いちき串木野市大里で伝承されている「市来の七夕踊」の調査と資料収集を行った。とくに、地区の青年団を中心とした伝承組織の変遷と、一週間にわたる稽古の過程に注目して調査を行い、その成果の一部は日本民俗学会で発表し、『無形文化遺産研究報告』で報告した。また、同地区で伝承されている大里虫追い踊りについても現地調査を行った。

公開の実態調査としては、京の郷土芸能祭の公開確認調査、大阪歴史博物館における天神祭関係展示調査を実施した。

また、新たに保護の対象となった民俗技術に関する調査としては、香川県西讃地方で、八朔の馬節供に飾られる団子馬製作の技術について、現地調査と資料収集を行い、その成果を『無形文化遺産研究報告』で報告した。

さらに、無形文化財・無形民俗文化財・文化財保存技術に関して作成された記録類の所在情報データベースを構築することを目指し、(財)伝統文化活性化国民協会と協力して、全国の地方自治体から集められた情報の整理とデータ化を完了し、次年度のデータベース構築に向けての検討を行った。データ整理の結果は東京文化財研究所総合研究会において発表した。

2 無形民俗文化財研究協議会

日 時：2009年（平成21年）11月19日（木）10：30～17：20

会 場：東京文化財研究所セミナー室

参加者：107名

テーマ：無形の民俗の伝承と子どもの関わり

趣 旨：無形文化遺産部では、旧芸能部の時代から、保存関係者・行政担当者・研究者などが一堂に会して民俗芸能の保護と継承について研究協議する会を開催してきた。平成18年度より対象を無形の民俗文化財一般に広げ、新たに「無形民俗文化財研究協議会」として開催している。第4回に当たる本年度は、「無形の民俗の伝承と子どもの関わり」をテーマとして、民俗行事や民俗芸能、生活文化などの幅広い無形の民俗を対象として、子どもたちが地域の民俗について学び、実践するためのユニークな活動を実施している5件の事例の報告を行った。この報告をもとに、コメンテーターやフロア参加者も含めた全体的な討議を行い、多くの文化財行政担当者や研究者、伝承者の方々の意見を求めた。協議の成果は報告書として刊行した。

プログラム：

(総合司会) 俵木悟 (東京文化財研究所無形文化遺産部)

10：30～10：40 挨拶

宮田繁幸 (東京文化財研究所無形文化遺産部長)

10：40～10：45 趣旨説明

俵木悟 (東京文化財研究所無形文化遺産部)

10：45～11：20 「大磯の七夕行事の継承の取り組み」

佐川和裕 (大磯町郷土資料館学芸員)

①プロジェクト研究 Areal,4

- 11:20~11:55 「大鹿歌舞伎の継承の取り組み」 北村尚幸（大鹿村教育委員会社会教育係長）
11:55~13:30 （昼食）
13:30~14:05 「伝統文化子ども教室事業の現状と課題について」
松本保之（財団法人伝統文化活性化国民協会事務局次長）
14:05~14:40 「直根小学校における民俗芸能への取り組み」 金利紀（由利本荘市立直根小学校長）
14:40~15:15 「餅・団子を通じた様々な「発見」～東北歴史博物館が小学生と行った民俗調査から～」
小谷竜介（宮城県教育庁文化財保護課技術主査）
15:15~15:40 （休憩）
15:40~17:30 総合討議
コメンテーター：伊野義博（新潟大学教育学部教授）
橋本裕之（盛岡大学文学部日本文学科教授）
コーディネーター：宮田繁幸（東京文化財研究所無形文化遺産部長）

発表件数 3件

- ・ 俵木悟 「民俗芸能の稽古を通して見る社会組織の動態—大里七夕踊の事例から—」 第61回日本民俗学会
年会 國學院大學 09.10.4
- ・ 宮田繁幸 “Scholar, Local government, and Local Community-A case study of the safeguarding
of folk performing arts in Japan “Ayako-Mai”” 国際会議「無形文化遺産と地域共同体」 香港科技大
学 09.12.4
- ・ 俵木悟 「無形文化遺産の記録所在情報データベース構築に向けて—現状報告—」 東京文化財研究所総合
研究会 10.2.10

論文等掲載数 2件

- ・ 俵木悟 「大里七夕踊にみる民俗芸能の伝承組織の動態」 『無形文化遺産研究報告』4 pp. 69-87 10.3
- ・ 服部比呂美 「八朔の馬節供 西讃地方の団子馬製作を中心に」 『無形文化遺産研究報告』4 pp. 89-129
10.3

報告書刊行 1件

- ・ 『第4回無形民俗文化財研究協議会報告書—無形の民俗の伝承と子どもの関わり—』 東京文化財研究所
09.3

研究組織

- 宮田繁幸、俵木悟（以上、無形文化遺産部）、大島暁雄、服部比呂美（以上、客員研究員）



香川県丸亀市の団子馬の製作



大里七夕踊りの稽古（ウチナラシ）の様子